

## 第5回庁内研究プロジェクト会議発言要旨

日時:平成14年12月26日

場所:議会委員会室

### 1. 第4回(11月12日)研究プロジェクト以降の情勢について(事務局説明)

**座長:**11月に開催した第4回プロジェクト会議以降いろいろな情勢があった。広域市町村圏振興協議会では研究会5回、助役部会、委員会が開催され、先日の委員会の前段に研究会としての報告書を提出した。12月定例会では、新聞報道で「法定協議会設置を示唆」の記事があったが、その様なことは本会議で一切言っていない。

#### 報告事項

- 1) 第4回研究プロジェクト以降の市町村合併に関する情勢について
- 2) 第4回定例会一般質問について
- 3) 富良野地区広域市町村振興協議会市町村合併研究会報告書について

・首長会議での内容を差し支えない程度で教えていただきたい。

**座長:**次の段階への組織をつくるのは必要とのことだが、明年1月に再度協議を行うこととなった。結論をだすべきだという自治体と慎重にするべきだという自治体に分かれている。

・地域懇談会での住民の反応・意見は？

**座長:**「中心市街地、介護保険、市町村合併」の3つのテーマを挙げ地域懇談会を行ったが、合併問題については、あまり意見がなく反応が低いと感じた。3人以上集まれば、職員が向う「出前トーク」を広報で周知しているが、今のところ応募がない。沿線では1月14日から中富で、その後上富で地域懇談会を予定している。

### 2. 合併問題に対してどのような提案を行っていくか？

**事務局:**前回の会議では「合併をしない場合、する場合」の議論よりも、住民や職員に対して「合併問題を一緒に考える」情報を提供すべきであり、ある程度の議論は尽くされたという意見が出されている。そのことを踏まえ、「合併問題を考える提案書」としての素案を作成した。

**座長:**先ほども事務局から申し上げたように、前回の会議でプロジェクトとしての議論は尽くされたのではないかという意見が出されている。職場等での討議資料として「みんなで考えていく情報」として事務局サイドで作成している。西尾私案が11月に出されたが、町村会では対案をだすらしい。提案書について又は全体を通して何か意見等があれば伺いたい。

**事務局:**P13からP16の部分は賛否両論があると思われる。合併問題は、一部の側面をみて片寄って判断することが多いが、総合的に考える必要がある。これを踏まえて1、2月には、職員向けに「市町村合併研究会の調査研究報告書」と「庁内合併研究プロジェクト提案書」を説明し、意見収集を行いたい。

・この内容でいいと思うが、合併特例債は基準財政需要額が変わるので今の額そのままにはならないのではないかと。

**事務局:**合併特例債の上限227億円は建設事業に対する数字であり、人口規模により算定式が総務省より出されている。このうち95%の起債ができ、さらにそのうちの75%が交付税バックされる。

・交付税算定では、国の予算が大変厳しいので、合併特例債の交付税措置75%が単純に上乘せられ普通交付税が現状に加算されるというのではなく、他の基準財政需要額で圧縮される可能性があるのではないだろうか。P7の表がわかりやすいが、した場合、しない場合でした場合の額が下がっているがどういう線引きになっているのか。

・合併することによって経費をかけないということでは下がっているのではないだろうか。

**事務局:**見方としては、富良野市単独で見た場合はこうなるのではないかとということを示している。

・この提案書が合併問題を判断できる材料であるかどうかは難しいと思う。  
・自治の本質などの議論も話が大きいので、まとめることも難しい。

・国も、どの程度の人口規模が望ましいのか、また、将来の自治体のあり方についても示す必要がある。

・道の合併パターンでは40キロ圏内を一つの行政区として基準を決めているが、富良野圏内では、合併したら100キロ近くになり、長い将来にわたってみると疑問に思う。

・上富では戸籍を電算で管理しており全道で一番先に取り組んでいた。

・中富も電算化している。

・戸籍については合併した場合、紙にもどせという話や電算化しないという問題もある。

・法務局から市長に話した経緯もあるがこのようなことも認識して欲しい。

・市民からみれば具体的には自分たちの生活がどうなるのかという話がないとわからないのではないか。

**座長:**市町村合併研究会でも市議会議員会でも、個別具体の議論は、合併協議会を発足しなければ検討が難しいとの意見が出されている。

・合併協議会を発足するのであれば、各市町村から専属の職員出さないと担当者に仕事が片寄ってしまう。出せる情報はなるべく提示した方がいい。

・富良野市は合併したいような報道がされているような気がする。

・他町村は合併したくないというが、将来を考えると他町村のほうが高齢化は進み厳しい状態になるのではないか。

・小さい自治体はいろいろな面で何とかしないといけないと思う。

・対等に話せる協議会等作って協議したほうがよい。

・合併してもしなくても金がなくなる。10年後を見据えて方向性をきめないといけない。

**座長:**庁内合併研究プロジェクトとしては今回で終わりにします。本提案書を総務部長に提出し、職場討議を行っていきます。

[戻る](#)